

木造千手観音菩薩立像

～唐津市夕日 夕日観音堂～

■木造千手観音菩薩立像（もくぞうせんじゅかんのんぼさつりゅうそう）

木造千手観音菩薩立像は榿材を用いた一木造りです。彫眼の像で、内割りは全くなく、右の鎖骨のあたりには木芯が認められる。本来は十一面、四十二臂の像であったと思われるが、現在では合掌手以外は後補にかわり四十臂となっている。他の後補部分は頭上仏面のすべてと足先である。

合掌手は指先まで、宝鉢手は肘まで本体と共木から彫りだしている。左手第8手が古様を示していて当初に作られたものの可能性がある。脇手は背中中央で矧ぎ付け、頭上仏面は頭上に穿った穴に差している。頭上面は、後ろ正面とその左隣の二面が古様で、他の九面は新補である。耳朶に穴は穿たず、像底に台座に固定するための穴を開けている。

裳にみられる翻波式の衣文や、耳が長く耳朶が外に反り、口唇がとがる表現は力強く優れており、平安初期の彫刻に通じるものである。しかし全体に彫りがやや浅く表現に厳しさが薄いことから、実際の製作は平安時代中期（10世紀～11世紀）と考えられる。

本像は三田川町東妙寺の聖観音立像とならんで県内で最も古い木彫仏であり、佐賀県とくに松浦地方の平安文化を伝える数少ない資料としても貴重である。

像高 173.0cm。

平成6年3月31日 県重要文化財（彫刻）指定

唐津市夕日字舟石 夕日観音堂

分野 歴史

地域 唐津

◎地図・写真・統計資料など



木造千手観音菩薩立像

（『唐津市の文化財』より）

◎引用・参考文献（出典）

◆『唐津市の文化財』
（唐津市教育委員会）

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html